



めはえ 5 6 年 0 日 社会福祉人
 No. 9 令和 9 月 秋川あすか 会

台風十号にはほとほと困りました

自然のなす力にはどうする事も出来な
 い事を見せつけられました。

昔から 二百十日 二百二十日と言え
 ば(立 春から教えて)自然災害の起きる頃と
 心配された通りこれでもか、これでもか
 日本中を嵐の中に巻き込みました。
 化学や科学がどんなに進歩しても
 迷走する台風には手も足も出ません
 でした。

私達は自然の営みに対して日々の生活の
 中でもう一度敬意を持ち自然を大切
 にする事は、どういふ事か、自然と向き合
 う事はどんな事なのか、生活の中で見直
 す事を一人一人が心掛ける実践する時が
 来て、なと思おうべきでしょう。

もう遅いかも知れませんね
 自分が生きて来た丁度振り返る時、あま
 りにも大きく変化してしま
 う。その速度の速いこと(変化の)怖さを感じ
 ている時があります。

世の中 進歩は必要です。便利になる事も
 必要です。

しかし、あまりにも 進歩変化が激しく
 人の心のあひおがついていけない事か、あま
 りにも多い気がします。

年を重ねると、いい時代に生れ、生活を
 生きてこられた戦争がなかったが第一。
 そう思うと、これからの時代を生きてゆく
 今の子ども達の時代を想像する時

思わぬ 手を合わせたく祈るしま、毒
 子育る中にならなく、子育るを楽しみあれ

父母会に出席は

二学期の父母会が始まりました。

一日のお仕事を終えて都合つけて出席して
 下さる大切な時間。

なるべく参考にならぬ内容を想像がつかず
 話し方を。

身近で役に立つ話を...と毎回、毎年考
 えるのですが、余念な話にそれとしま、反省が
 重なります。

長年保育の備として来た者の身として
 園を築きつてからも元気で、その子らしく育ち
 やりたい道をみつけ人生を生きてほしい...と
 願うことが第一です。

相当な人と接して来て、いろいろな性格の子が
 います。

本当に一人一人違います。しかし大人にならな
 ためて会ったりすると、どの子も立派な大人と
 力強さ我が道を歩ませています。
 うれしく思います。

思えばと言うより思いつかない所は、出合
 して、もしかして〇先生は?と言われ
 〇〇君... そうです。おつかいしましたね。

などとおたのしみながら、もう幼児期に戻さ
 父母会では、そんな話が出来たらうと、なに
 いいだろう...と思いつながら

つい、もう六月月日たらう小学校です。

今からコソコソと、日常生活の中、自分の身
 自分で、行い、カレンダーを印を、一週間確認
 として、体験します。そこから一週間の
 日教習、慣れつけが、確実なものになり

生きた力とあります。なると言てしま、い
 こんな事も大切ですが、第一は元気が
 毎日か過こせたら、何もいらぬ位の大きな

気持ちで、子どもの成長を一緒に楽しみま